



Young Entrepreneurs Group

会員募集中

山形商工会議所の
会員及びその後継者
満20才～満45才
www.y-yeg.jp
詳しくはweb

みなぎる
やまがた

会員インタビュー 1

Takashi Onizawa 鬼澤 隆史

1998年度入会



入会してよかったことは？

素晴らしい仲間達との出会いでしょうか。日本一の芋煮会や様々な活動を通して、共に課題に取り組み、共に苦難を乗り越えたり、そして共に成功を喜んだり、そういう活動の中で『同じ釜の飯を食った仲間』正に親友と呼べる仲間と出会えた事です。

活動で楽しいことは？

日本一の芋煮会では、会場2回、企画広報、調理、茶屋、渉外の部会長をさせて頂きましたが、毎回様々な課題がありました。でも部会の仲間達と協力し成功に導いていく事。大変だからこそ思い返せばそれが楽しかったのだと思います。

やりがいは？

芋煮会の活動の中で沢山の失敗もありました。茶屋の悪夢の3回転事件、勢いで作りひんしゅくを買った網ひしゃく。エトセトラ。失敗も多々ありましたが、より良いイベントにする為に知恵を出し結果として自分の提案し作ってきたものが残ったり引き継がれていく、その喜びを感じられる事です。



Since 1983

入会のきっかけは？

先輩からの誘いで入会しました。青年部での活動内容を聞き、これまでの自分に無い経験をしながら、地元山形に貢献できると感じました。

また今までとは全く違う仲間との出会いも魅力的でした！

活動で楽しみなことは？

まずは毎月の例会ですね。楽しかったり、勉強になったり、毎回全く違うテーマで開催されます。あとはやっぱり「日本一の芋煮会フェスティバル」、この山形を代表するイベントへ内側から参加できる事は素晴らしい経験になります。

様々なイベント後のビールも最高です(笑)。

入会しての感想は？

本当に沢山の先輩方、仲間と出会う事ができ、心から入会して良かったと感じています。皆、様々な職種のあつまりですので、商売上で困ったことや、実現したいことがあれば、身近な存在としてがっちりサポートしてくれます。あと飲み会は毎度盛り上がり(笑)。楽しい事も苦勞も共にできる仲間の存在で、なにか新しい人生が開けたような感じがしています。

会員インタビュー 2

Hiroshi Saito 齋藤 弘

2013年度入会



青年部ってどんなことしてるの

What's 青年部?



山形の秋の風物詩としてすっかり、全国的に知られるようになった「日本一の芋煮会」。芋煮シーズンのスタートを告げる毎年9月に開催しています。



日本一の芋煮会



月例会

毎月、各委員会がそれぞれのテーマに沿った例会を開催しております。自己研鑽を目的とした講師をお呼びしての講演会、実際に体験したり参加をしての会員同士の親睦を深めるためのレクリエーションなどをおこなっております。



青年部に入ってから、例えなどを通しての自己研鑽、会社では出来ない様々な経験などありますが、一番のメリットは異業種の人たちとの交流、そして多くの仲間との出会いだと思います。

皆で考え、汗をかき、活動した思い出は一生忘れないものではないでしょうか！



初市

山形の夏を彩る「花笠まつり」毎年8月5・6・7日に行われる花笠を盛り上げる活動の一環として、祭り期間中に文翔館にて開催しています。



花笠食フェスタ



江戸初期から始まり、約400年の伝統を誇る山形市の初市。青年部ではA Z 中央公民館前で獅子舞、納豆汁の振る舞いなどを行っています。



モンテディオフラッグタウン計画

青年部ではプロサッカーチーム「モンテディオ山形」を地域全体で応援していこうとの思いから、毎年、山形市内各商店街の街灯へモンテディオ山形オリジナル応援フラッグを掲出しております。

